

おわりに

「自ら学び、確かな学力を身に付けた児童の育成～広げ、深める交流活動に視点を当てて～」を研究主題に掲げ、ここに今年度の校内研修をまとめることができました。

主題の「自ら学び、確かな学力を身に付けた児童の育成」については、一昨年からの継続での3年目となります。この3年間、学力オリンピックを実施したり算数アイテムの活用や家庭学習の推進を通して、児童の学力向上を図ってきました。

昨年度と同様に、今年度も、高学年で教科担当制を取り入れており、学年研修を充実させ、全教科の学習活動で授業実践をしながら、児童の表現力や思考力を高めることを目標としてきた。

今年度は、交流活動に視点を当てて、児童が自ら進んで課題解決を図れるような授業を実践し、「確かな学力」を習得し、「生きる力」をはぐくむことに繋がりたいと考えた。そして、交流活動を通して、子どもたち同士が意見交換や発表など、互いに教え合い、協働的な学びを通して、思考力・判断力・表現力を育成していきたい。また、回覧式の自主学习ノートを取り入れたり、「家庭学習の手引き」を活用したりしながら地域との連携を軸に、本校の課題である家庭教育力の向上にも推進してきた。

そして、学年研修だけでなく、3つの研究部を組織し、研修企画委員会を推進役として、授業研究部・調査研究部・学習環境研究部で取り組み、交流学习のメリットやデメリット、CRTの経年変化やQU・C&Sの分析結果の成果を学年研修に生かしていくという方向で実践的な研究を推進してきました。

今後も、基礎基本を定着させるため、教師と児童の、そして教職員同士の学び合いを更に深めていく。そして、一人一人が教師の資質向上を目指し、教育目標の具現化を図るために、一人一授業を公開し、児童の実態を的確に捉えた校内研修での取組を地道に積み重ねていきたいと考えます。

おわりに、本校の研究を推進するにあたり、ご指導ご助言をいただきました桐生市教育委員会指導主事の皆様方並びに関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

29年3月 吉日

教頭 栗原 政夫

研究同人

校長	◇伏島 均	教頭	◇栗原 政夫
第1学年	小山 千恵	第2学年	重野ひろみ
	◇新海喜美子		本間佐智子
	牧田 和美		○佐藤 浩正
第3学年	○林 和弘	第4学年	◎小林 政美
	関口友梨子		北向 茜
	井上 薫		荻野 貴法
第5学年	大河内淳一	第6学年	重野 ひろみ
	磯田 翔子		荻野 貴法
	◇須藤 茜		○関 真克
学習室1	金澤 順子	学習室2	松田 百重
教務主任	◇大沼 嘉和	理科専科	森 俊博
音楽専科	服部 一美		
養護教諭	堀越 絢加	主幹事務長	宮内 信行

◎研修主任 ○研修部長 ◇研修企画委員

研修のまとめ